

# のり海況速報 第11報 (28-11)

平成29年2月20日発行  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 2/14：内湾(ふさなみ)、2/15：内房北部(ふさなみ)  
 関東・東海海況速報(2/14-15)、東京湾口海況図(2/14-15)  
 自動観測ブイデータ(2/14-15)  
 モニタリングポスト(2/14-15：国交省関東地方整備局)

## 【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は9～10℃台で、前回(2/3)と比べて大きな変化はありません。塩分は32台が広く分布しており、前回よりやや高めです。
- ・内房北部の表層水温は10～11℃台で前回より低下しました。塩分は33台です(図1)。
- ・鉛直断面では、内湾の20m以浅の水温が9～10℃台で低温域が拡がり、塩分は32台、アクアラインの南側ではやや高めです。内房北部の水温は12～13℃台で、前回より低下しました(図2)。

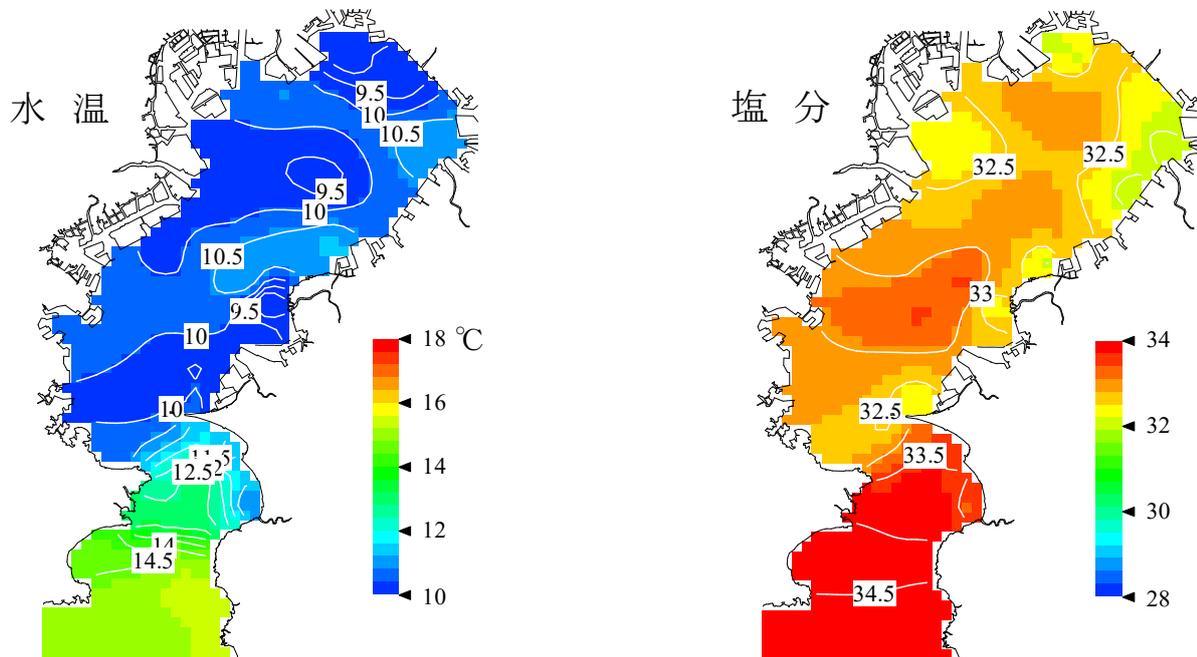


図1 表層の水温・塩分の分布(平成29年2月14-15日)

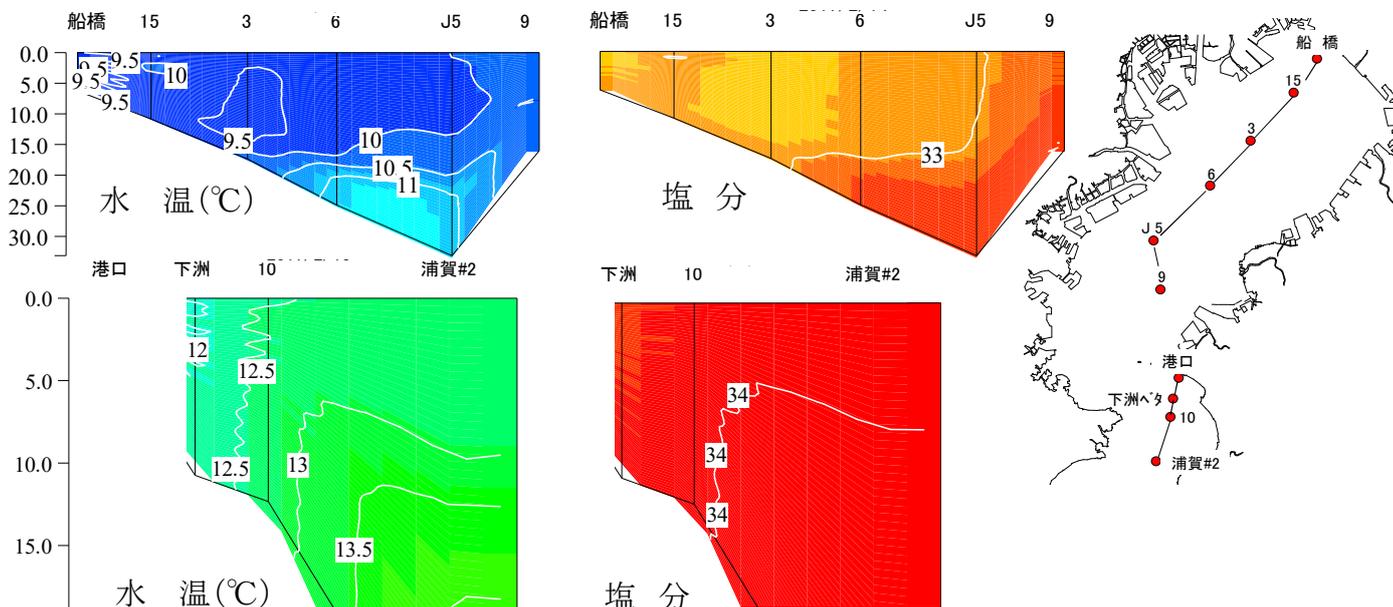


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成29年2月14-15日)  
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

## 【赤潮・栄養塩の状況】

- 赤潮は全域で発生していません。
- 湾内の出現プランクトンは増加、珪藻のスケルトネマと渦鞭毛藻のプロロケントルムが優先し、内湾ではアステリオネロプシス（珪藻）がみられました。内湾の透明度は3～4m、富津岬周辺は5～9m、水色は富津岬周辺から北側で灰緑～黄褐色でした。
- 表層の栄養塩は、窒素(D I N)が $250 \mu\text{g}/\ell$ 以上で問題はありません。リン(D I P)は全般に低く、特に内湾北部から富津にかけて $8 \mu\text{g}/\ell$ 以下でした(図3)。

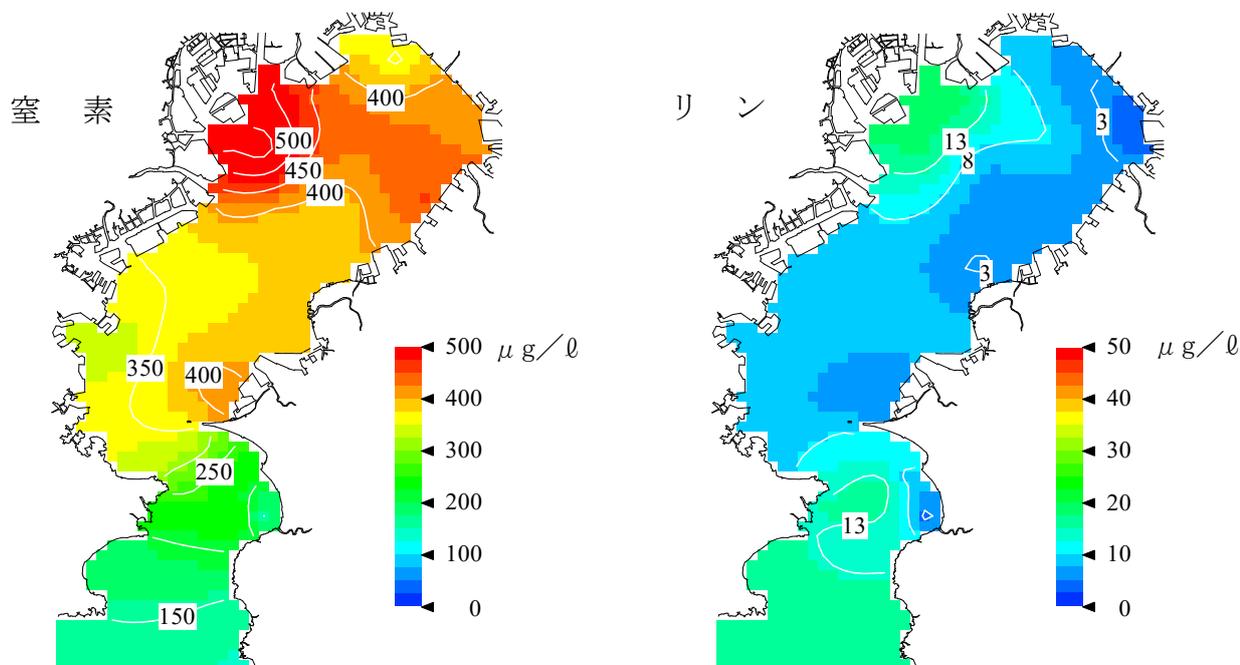


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成29年2月14-15日)

### 川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について, 5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: [http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main\\_frame.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html)

携帯 : [http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile\\_forecast.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html)